

心に残る文化財子ども塾 雲南市立佐世小学校

1. 活動の概要

6月9日(火)、雲南市立佐世小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。佐世や大東、雲南の縄文時代から古墳時代の遺跡や勾玉について学習し、体験活動は「勾玉づくり」を実施しました。はじめに、島根県埋蔵文化財調査センター職員が佐世や大東、雲南の縄文時代から古墳時代の遺跡について視覚資料を用いて解説しました。学校周辺の遺跡について解説するとともに、勾玉についてはクイズ形式で学習しました。このほか、島根県内出土の玉類について、教室内に展示しました。

体験活動では、勾玉作成の手順をもとに、児童の皆さんそれぞれが勾玉の制作に取りかかりました。最初はレンガなどで勾玉の素材となる石を削り、古墳時代の勾玉づくりを体験してもらいました。制作中は、制作段階ごとに、個別に指導・助言しました。設定した時間の前後でおおむね皆さんの勾玉が完成しました。最終工程のみがきについては、自宅などでもできることをお伝えしました。

2. 活動の様子

1)学校周辺の遺跡や勾玉について知ろう



学校周辺の遺跡について解説



勾玉クイズの様子

2)古代体験活動～勾玉づくり体験～



勾玉づくりの様子

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・佐世の昔のことや雲南市の古墳についてたくさん知れてうれしかった。
- ・勾玉はいろいろな石を使って作るとはじめて知りました。
- ・勾玉づくりは難しかったけど、楽しかったです。
- ・今度は雲南の古墳を見てみたい。

2)担任の先生から…

- 完全な講義形式ではなく、クイズをおりまぜて展開したことで、対話が増えて良かった。
- 身近な地域にたくさんのお宝があることを知れた。
- 本物の遺物を間近に見ることができ、関心が高まった。

3)埋文センターから

クイズ形式を取り入れたことで、児童の皆さんと対話をしながら、また、自分で考える時間を設けることができました。完全講義形式での学習よりも児童の皆さんの反応も良く、勾玉について理解が深まったと思います。

勾玉づくりでは、古墳時代の玉づくりの様子を知ってもらえたと思います。皆さん、熱心に作業をされ、時間の中でおおむね完成した点は良かったと思います。充実した体験活動を実施することができました。